

令和6年度 保育所自己評価

園名 吹田市立片山保育園

保育所保育指針では、「保育所は、保育の質の向上を図るため、保育の計画の展開や保育士等の自己評価結果を踏まえ、当該保育所の保育の内容等について自ら評価を行い、その結果を公表するように努めなければならない」ことが明記されています。このことに基づき、公立保育園では毎年自己評価を実施しております。評価の結果を踏まえ、よりよい教育・保育に向けた、改善や充実に取り組んでまいります。

園目標
心もからだも健康な子 自分の思いを表現できる子 仲間を大切にする子 意欲的に取り組める子

評価結果の表示方法

A・・・十分達成されている。 B・・・達成されている。 C・・・取り組まれているが、成果が十分でない
 D・・・取り組みが不十分である。

自己評価項目	ABCD 評価	評価内容
保育理念	B	人権について学習を行い、職員一人ひとりが意識を高められるように努めた。
こどもの発達援助	A	子供の姿を職員間で共有し、必要な手立てや環境づくりに取り組んだ。
保護者との連携	A	日々、子供の姿を伝えあい、信頼関係を築いてきた。
地域との連携	A	他施設と連携しながら地域事業を行い、園内では体験保育や園児との交流等行った。
運営・管理、社会的責任	B	服務規律を意識し、業務を遂行してきた。業務について職員間で共有できるよう努めてきた。
職員の資質向上	A	園内研修を行い、学習の機会を持ってきた。
安心・安全	B	訓練や点検を行い、施設修繕をすすめるとともに、危機管理について話し合い、安全についての意識を高めてきた。

今年度の評価	
安心・安全な保育	・子供の様子に合わせながら、安心安全に過ごせるよう人的配置を工夫してきた。また、今の子供の姿にあった保育を考えてきた。
来年度の目標	
・安心・安全な保育 ・子供一人ひとりを大切に	